

11月12日（金）浦安市文化会館大ホールにて、演劇「地雷探知犬エリー」を鑑賞しました。

（内容）

女子高校生の主人公（奈々子）は、今日も友人と遊び歩き遅くに帰宅。

愛犬のエリーを探すが、返事はありません。

帰宅した父親を問い詰めると、なんと地雷探知犬として、エリーはカンボジアに。

奈々子はエリーを連れ戻す決意で、ボランティアに行く父に同行しカンボジアへ！

無数の地雷が埋められたカンボジアの大地。そこで奈々子が遭遇したのは、

地雷に傷つき倒れる人々、

地雷と戦うボランティアたち、そして犬たちの姿

「こんな綺麗な夕日の下に、たくさんの地雷・・・」

「地球に謝んなきゃね。」「お父さんもっと教えて・・・地雷のこと。」

涙ながらつぶやく奈々子の胸のうちに今までに無かった思いが育まれていく。

生徒は、高校生である主人公が命・平和・家族の尊さに気づき精神的に成長する姿や、地雷除去のボランティア活動に従事する人々と地雷探知犬との触れ合い、本物のシェパード犬の演技などを食い入るように見ていました。

